

研究分野のキーワード：第一言語習得，第二言語習得，日本語教育，英語教育，誤用分析

研究紹介

私は言語（第一言語、第二言語）がどのように習得（学習）されるかに興味を持って研究を進めています。「英語をいくら勉強してもネイティブ・スピーカーのように使えないのはなぜか」という素朴な疑問から私の研究は始まりました。英文法、英単語、英熟語などを勉強しても、なかなか正しく使えません。冠詞をいくら勉強しても、ネイティブ・チェックで必ず直されます。また、私の英文は文法的には正しくても、ネイティブ・スピーカーの表現方法とは異なっています。

例えば、文字のない絵本を見て物語を語ってもらいます。すると、同じストーリーで、同じ絵を見ているのに、母語によって表現方法、視点、見方が異なるのに気づきました。また、第二言語（外国語）で話してもらうと、その言語の母語話者とは異なった表現、レトリック等が見られることが分かりました。これらの原因を探るために、母語（第一言語）がどのように習得されるか、外国語（第二言語）がどのように習得されるかを分析し、これらを比較しながら、第二言語習得の過程で起こる様々な現象の研究をしています。

第二言語を習得するときには母語の影響を受けること（母語の転移）はよく知られていますが、その他にも様々な現象が起きます。学んでいる外国語（目標言語）の文法規則の過剰般化、過剰規則化、化石化、訓練の転移、回避等は誤用を招く原因となっています。ここではこれらの術語の意味は説明しませんが、興味のある人はぜひ調べてみてください。

さて、私は大学では留学生に日本語を教えています。留学生は中国、台湾、アメリカ、ドイツ、イギリス、タイ、インドネシア、マレーシア、ブラジル、メキシコ、スペイン、ミャンマー、カンボジア等、様々な国から来ています。これらの留学生がどのようにしたら日本語をうまく習得できるか、どのような教材を使えばよいか、どのような教え方が効果的か等をいつも考えています。第一言語習得、第二言語習得に関する研究で得られた知見を、外国語教育（教材開発、教授法、シラバス作成等）にどのように活かすかを考察するのも私の大切な研究分野の一つです。